

予算委員長報告

本会議において、本委員会に付託されました、「議第89号」について、18日に予算委員会を開催し審査を行いましたので、その経過と結果を報告いたします。

「議第89号 令和元年度安来市一般会計補正予算（第3号）」について、歳入及び地方債補正の補足説明を受けた後に審査し、歳出も款別順に補足説明を受け審査を行いました。

審査内容の主なものは、2款総務費の旧安来市学生寮整備事業で、「島根総合福祉専門学校を卒業後は、市内或いは県内就職への縛りなどはあるのか。」との質問に対して、執行部からは「卒業後は市内就職を前提として考えており、現時点では市内の福祉関係に就職したい旨の要望書を入学前に提出していただく予定としている。」との答弁でした。更に委員からは「専門学校に対して、一般財源を原資としてこれだけの整備をするのだから、定住対策の観点からも明確な対応をお願いします。」との意見がありました。

また、7款商工費について「商業再生支援対策事業では交付見込額に対する当初予算額の割合が約30%、産業サポートネットワークやすぎ事業では年間支援見込額に対する当初予算額の割合が約55%であり、基本的な予算編成の考え方を伺う。」との質問に対して、執行部からは「近年の傾向として、両事業とも年度により申請件数に大きな差異が生じているため、当初予算編成時には前年度の中間実績及び見込数から積算し、不足分は随時補正予算での対応としている。なお、県の補助事業もあるが同様の対応を取っている。」との答弁でした。

その他、数件の確認等ありましたが、いずれも今補正予算に直接影響する内容ではなく、採決の結果「議第89号 令和元年度安来市一般会計補正予算（第3号）」については、全会一致で執行部提出原案の通り可決すべきものと決しました。

以上、予算委員長報告といたします。